

一般社団法人日本循環器看護学会
令和3年度 第4回WEB理事会 議事録

- 1 日 時 2022年6月21日(火) 18時30分から20時30分まで
- 2 場 所 日本循環器看護学会事務局(東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F)
- 3 出席者 眞嶋 朋子、宮脇 郁子、池亀 俊美、宇都宮 明美、岡田 彩子、大江 理英、
齊藤 奈緒、田村 綾子、林 亜希子、前田 靖子、三浦 稚郁子、明神 哲也、
山田 佐登美、若林 留美、鷲田 幸一(以上理事)
坂本 明子(以上指名理事)
吉田 俊子(以上監事) 以上18名中17名出席(定足数8名)
- 欠席者 瀬戸 奈津子
(理事及び監事は、全員ZOOMによるWEB出席)／事務局 横川は事務局にて出席

4 会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果

以上のとおり定款第28条の定める定足数を満たす理事の出席があり、本理事会はWEB会議システムを用いて開催されるため、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることが確認されたことで本理事会が成立したため、定刻、眞嶋理事長が開会を宣した。

第1号議案 令和3年度第3回理事会議事録の確認について

眞嶋理事長より、第3回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

第2号議案 新規入会・退会者の承認について

総務委員会齊藤委員長より、新規申請入会申請者92名、退会希望者9名について報告がなされ、異議なく承認された。

第3号議案 令和4年度事業計画・予算案について

令和4年度事業計画案が示され、各委員会委員長より事業計画案について説明がなされた。

1) 学術委員会

1. 循環器病に関わる看護職者の知識の向上に資する教育セミナーの開催

(1) ZOOM ウェビナーを活用したオンラインセミナーの開催

・年2回 / 2023年2月、2023年7月を予定

・在宅医療、心リハ、緩和ケア、意思決定支援、倫理調整、循環器併存疾患などに関するテーマを検討する。

(2) 次年度に向けてセミナー内容の体系化の検討(クリニカルラダーレベルに合わせた内容など)

会員に対するニーズ調査の結果をもとに検討する 2. 海外の循環器看護に 関連する会との交流

(1) GCNLF: The Global Cardiovascular Nursing Leadership Forum への参加
(2022年10月頃開催)

(2) ACNAP: Association of Cardiovascular Nursing & Allied Professions への参加
(2023年6月頃開催)

(3) 上記交流内容を会員へ広く周知する(学術集会やホームページの活用)

3. 循環器看護領域の学術的基盤の構築と発展に向けた検討

(1) 循環器看護の定義案をもとに循環器看護のコア・コンピテンシーの作成を検討する。

目的:多様化する循環器医療において、循環器看護の専門職の育成に寄与する。

2)学会誌編集委員会

1. 日本循環器看護学会誌年 2 回
第 18 巻第 1 号,第 18 巻第 2 号の発行、第 19 巻第 1 号の発刊準備
2. 電子投稿システム・査読システムの運用の評価と改善(継続)
3. 専任査読委員体制強化(継続) テーマ、研究方法論 分析手法等の専門性に対応可能な体制作り
4. 投稿原稿の活性化へ向けての対策の検討(継続)
 - ・第 19 回学術集会での委員会セミナー(投稿論文作成や査読の受け方等)
 - ・投稿規定(投稿者の条件、著作権等)の検討
 - ・学会誌オンライン化へ向けた移行準備

3)政策・診療報酬委員会

- 1.2024 年度診療報酬改定にむけて循環器看護分野からの医療技術、診療体制等についての提案準備
- 2.日本看護協会の心不全患者の療養支援に関する実証事業に参加
- 3.医療保険に関する外部機関への会議等の出席、および渉外(看護系学会社会保険連合等)

4)広報委員会

1. 学会ホームページの改修・会員専用コンテンツの充実
2. 会員の研究・臨床実践活動に関する広報活動推進
3. ニュースレターの発行

5)倫理委員会

- 1.本法人の国内の循環器看護関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流を図る。
 - (1)関連法人・学会・研究会との樹陰シンポジウムの企画、およびジョイントシンポジウム開催の承認、座長の推薦等を行う。
 - (2)新たな関連法人・学会・研究会とのジョイントシンポジウム開催後の座長、演者の意見のもとに今後の交流について検討する。問題が生じた場合は、直ちに委員会で検討し、解決を図る。
- 2.関係諸団体との本法人の窓口となる。

6)国内交流委員会

- 1.本法人の国内の循環器看護関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流を図る。
 - (1)関連法人・学会・研究会とのジョイントシンポジウムの企画、およびジョイントシンポジウム開催の承認、座長の推薦等を行う。
 - (2)新たな関連法人・学会・研究会とのジョイントシンポジウム開催後の座長、演者の意見のもとに今後の交流について検討する。問題が生じた場合は、直ちに委員会で検討し、解決を図る。
- 2.関係諸団体との本法人の窓口となる。

7)選挙管理委員会

1. 法人第 6 期における選挙にむけた計画

8)総務委員会

1. R3 会員ニーズ調査に基づく本会事業見直しに伴う委員会組織・業務の整理および各委員会の活動支援、調整
2. 理事会、社員総会、会員総会の運営補助

3. 会員獲得・会員情報管理に関する事業
4. 規定類の評価・見直し:特に学会・学術集会関連情報のオンライン化と関連規定の検討・見直し
5. 若手研究者の研究助成事業の実施・評価

上記提案された事業計画案は異議なく承認され、続いて、令和4年度委員会予算案が示され、各委員会委員長より事業計画案に基づいた予算案について資料を元に説明され、政策・診療報酬委員会の次期診療報酬改定に向けた資料収集のための研究調査費、広報委員会の学会ホームページ改修費などの特筆すべき項目を含む予算案が異議なく承認された。

第4号議案 第60回日本人工臓器学会におけるジョイントシンポジウムについて

国内交流委員会の田村委員長より、日本人工臓器学会より協働企画について提案され、国内交流委員会にて選出された座長・後援者が提案され、異議なく承認された。

座長:前田 靖子 氏

演者1:富山 美由紀 氏

慢性心不全看護認定看護師・日本循環器看護学会会員・のぞみハートクリニック(大阪)

演者2:岡田 悦代 氏

慢性心不全看護認定看護師・日本循環器看護学会会員・ななーる訪問看護ステーション(大阪)

第5号議案 日本循環器予防学会からの名義使用と周知協力依頼について

国内交流委員会の田村委員長より、日本循環器予防学会からの名義使用と周知協力依頼について、資料を元に示され、異議なく承認された。

第6号議案 第87回日本循環器病学会学術集会「チーム医療セッション ジョイントシンポジウム」について

国内交流委員会の田村委員長より、第87回日本循環器病学会学術集会でのジョイントシンポジウムに関する以下2点について、国内交流委員会での審議で承認されたことが報告され、異議なく承認された。

- ・2023年3月、福岡において開催予定の第87回日本循環器病学会学術集会での「日本循環器看護学会・日本循環器病学会ジョイントシンポジウム」のプログラム集・抄録集・会場看板等へ掲載
- ・同シンポジウムに、本会の吉田 俊子氏への座長依頼、及び、名義使用と周知協力依頼

第7号議案 令和4年度研究助成審査について

研究助成審査委員会の宮脇委員長より、令和4年度研究助成の審査結果について報告され、異議なく承認された。

第8号議案 学会ホームページリニューアルについて

広報委員会の鷲田委員長より、本会ホームページのリニューアルに関して、広報委員会にて制作会社の選定を行ったことが報告され、異議なく承認された。

第9号議案 第21回学術集会長を選任について

眞嶋理事長より、第21回学術集会長として、三浦英恵氏(日本赤十字看護大学)を選出することが報告された。今後、定時社員総会にて選任されることとなる。

第10号議案 J-stageとメディカルオンラインについて

学会誌編集委員会の岡田委員長より、J-stage の登録内容について、委員会にて確認中であること、中でも、学会誌の公開設定などについては、他学会を参考にし、引き続き慎重に検討を進めることが報告された。また、メディカルオンラインについては問題なく進められることが報告された。J-stage 及び メディカルオンラインのいずれについても、2022 年 9 月までに明確に結果を示すことができるよう、学会誌編集委員会にて進めることとなった。

第 11 号議案 今後の理事会・定時社員総会などについて

今後の理事会などの予定について確認された。

8 月中旬頃	書面理事会
8 月～9 月	新理事長・新副理事長選考会議(新役員)
9 月 13 日(火)19:00～	旧体制理事会(指名理事を指名)/新理事長・新副理事長出席
9 月 28 日(水)19:00～	定時社員総会 ※新体制を報告
9 月～10 月	新体制理事会 新役員 / 新体制選任決議
※9 月上旬会計監査(監事監査)	

(報告事項)

1. 会員ニーズ調査報告

眞嶋理事長より、2022 年 4 月 13 日～4 月 30 日に実施された、会員ニーズ調査報告について、資料を元に報告された。

2. 第 19 回学術集会準備状況報告

第 19 回学術集会について、宇都宮企画委員より、資料が示され、進捗状況について報告された。

【第 19 回学術集会】

(1)開催概要

- 会期:2022 年 10 月 1 日(土)・2 日(日)*ライブ配信無し
- 【オンデマンド配信】2022 年 10 月 8 日(土)～2023 年 1 月 10 日(火)
- 会場:枚方市総合文化芸術センター、関西医科大学 看護学部棟
- テーマ:臨機応変
- ホームページ:<http://jacn2022.jp>
- 後援:学校法人 関西医科大学、枚方市、公益社団法人 大阪府看護協会

(2)プログラム配置案

全演者・座長の皆様に依頼状を送付し、ほとんどの承諾を得ることができた。
予算を考慮しライブ配信は行わないため、COVID-19 の状況によっては現地へお越しいただけない可能性のある役員については、来場ができない場合は企画委員会委員にて座長代理を務める予定。

(3)演題登録について

3 月 15 日(火)～6 月 30 日(木)までの日程で演題登録の受付を実施。6 月 1 日現在、一般演題は 17 題の登録状況である。

(4)演参加登録について

(4)参加登録

2022 年 6 月 1 日(水)～オンラインによる申込を開始予定。
前期登録期間:6 月 1 日(水)～8 月 31 日(水)

会員 9,000 円、非会員 10,000 円、学生 3,000 円

後期登録期間:9月1日(木)~11月30日(水)

会員 10,000 円、非会員 11,000 円、学生 3,000 円 *大学院生は除く

※4月下旬より、プログラム入poster・チラシ郵送による広報活動を開始。

(5)企業協賛の応募状況

厳しい状況ながら、集客を促すことで収入を確保したく、思いつく限り広報活動に力を入れている。日本人工臓器学会にご尽力いただき、「構造的心疾患(SHD)に対するカテーテル治療」というテーマで、エドワーズ・ライフサイエンス社からランチョンセミナーの協賛を得ることができた。また、フィリップモリスからの協賛について報告が行われた。

(6)ノベルティ・謝品について

大阪 MICE より 10 万円の助成を得ることができたため、小さなコングレスバックとしてコットンバッグを作成し、現地参加者限定 1,000 個用意としました。謝品はクオカードを予定。

(7)学術集会機材・運営見積書

節約したにかかわらず、看護学部棟内2会場同時中継に伴い音響について別システムを組む必要があるため、想定よりもかなり予算が必要になっている。「2会場→1会場」への変更については、1ヶ月前でも対応は可能ということで、参加状況、協賛状況を加味して検討の予定。

また、学術集会招待者は、関西医科大学と名義後援の関係者のみとし、当日運営も労務提携者ではなく、近隣の慢性心不全看護認定看護師の方々、企画委員会委員所属の教職員の方々や学生から実行委員・協力委員を募り、引き続き経費削減に努める予定。最終的には、学内事務局で担った業務が多々あるため、運営事務局と減額につき交渉の予定。

3. 第 20 回学術集会準備状況報告

第 20 回学術集会山田大会長より、2023 年に開催される第 20 回学術集会について進捗状況が報告された。

4. 第 40 回教育セミナー状況

学術委員会の三浦委員長より、第 40 回教育セミナーの進捗状況について報告された。

申込者数 106 名 (会員 57 名 / 非会員 49 名 /※6月7日現在)

<告知方法>

- ・4月上旬 学会 HP に告知
- ・会員:4月上旬に学会誌とともにポスターを送付
- ・6月7日に一斉メールで再度告知
- ・非会員:5月下旬 沖縄、北海道を含む全国 1000 施設にポスター郵送

5. 日本学術会議申請について

学術委員会の三浦委員長より、本学術会議申請について、追加提出を求められていた情報について調査を行い、提出を行ったことが報告された。

6. 名誉会員の推戴について

眞嶋理事長より、定時社員総会に向けて、本年も名誉会員の推戴を行う予定であることが報告された。

7. 法人第 5 期理事選挙について

選挙管理委員会の宇都宮委員長より、2022 年 6 月 1 日~6 月 14 日に実施した法人第 5 期理事選挙

について、2022年6月15日に役員選出に関する規程に則り開票作業を行った結果、投票率は64%だったことが報告された。現在、理事候補者へ内諾の連絡中であり、7月の書面理事会にて結果について報告予定であることが報告された。

8. ニュースレターについて

広報委員会の鷺田委員長より、現在、ニュースレターの制作を進めており、9月までに発行予定であることが報告された。

9. AMED 予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業について

吉田俊子監事が研究分担者として AMED 予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業について、今回は申請に至らなかったことが報告された。

WEB会議システムを用いた理事会は終始異状なく、議長は以上をもって、本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印する。

令和4年6月21日 一般社団法人 日本循環器看護学会 理事会

理事長 眞嶋 朋子 印

監事 吉田 俊子 印